

早島町男女共同参画に関するアンケート調査

【調査ご協力をお願い】

町民の皆様には、平素より町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

早島町では、「はやしまウィズプラン(第3次早島町男女共同参画基本計画)」を平成29年3月に策定し、男女共同参画社会を実現するための取組を進めています。

このたび、男女共同参画に関する意識や実態をお聞きし、「はやしまウィズプラン(第3次早島町男女共同参画基本計画)」を見直すための基礎資料とさせていただくため、本調査を実施することといたしました。

この調査は、町内にお住まいの20歳以上の男女2,000人の方を無作為に選ばせていただき、調査へのご協力をお願いしているものです。調査は無記名であり、回答いただいた内容は統計的に取りまとめ、回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に利用したりすることは一切ありません。

皆様のお声をお聞きし、計画に反映するための重要な資料とさせていただきますので、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和3年8月
早島町長 中川 真寿男

ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査は、あて名のご本人が、ご自身のお考えで記入してください。
- 2 令和3年8月1日現在の状況で、回答してください。
- 3 「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 4 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。
- 5 記入後は、**同封の返信用封筒に入れて 9月13日(月) までに、切手を貼らずに**ポストに投函してください。なお、封筒、調査票へのお名前の記入は不要です。
- 6 不明な点、調査に関する問い合わせは、下記にお願いします。

<お問い合わせ先>

早島町 まちづくり企画課

〒701-0303 岡山県都窪郡早島町前湯 360 番地 1
電話 086-482-0612 FAX 086-482-3405

■あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの年齢を回答してください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1 20～24歳 | 5 40～44歳 | 9 60～64歳 |
| 2 25～29歳 | 6 45～49歳 | 10 65～69歳 |
| 3 30～34歳 | 7 50～54歳 | 11 70歳以上 |
| 4 35～39歳 | 8 55～59歳 | |

問2 あなたの性別を回答してください。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|------------------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他(心と体の性別に違和感がある人等) |
|------|------|------------------------|

問3 あなたのご職業は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 自営業 | 6 専業主婦(夫) |
| 2 一般社員(職員)・正社員(職員) | 7 その他() |
| 3 派遣社員(職員)・契約社員(職員) | 8 無職 |
| 4 パート・アルバイト・内職等 | |
| 5 学生 | |

【問3で1～5と回答した方におたずねします。】

問3-1 あなたの勤め先、通学先はどこですか。(○は1つ)

- | | | | |
|------|--------|--------|----------|
| 1 町内 | 2 岡山市内 | 3 倉敷市内 | 4 その他() |
|------|--------|--------|----------|

【問3で1～4と回答した方におたずねします。】

問3-2 あなたの職場ではテレワーク(在宅勤務等)を実施していますか(実施しましたか)。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 緊急事態宣言発令時等、国や県から要請があった際に実施した |
| 2 国や県の要請に関わらず、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施している |
| 3 新型コロナウイルス感染拡大に関わらず、これまでも実施してきた |
| 4 実施していない |

問4 あなたは結婚されていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|------|
| 1 既婚(配偶者あり) | 2 既婚(死別・離別) | 3 未婚 |
|-------------|-------------|------|

【問4で1と回答した方におたずねします。】

問4-1 あなたと配偶者の方は共働きですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 両者とも働いている | 3 女性のみ働いている |
| 2 男性のみ働いている | 4 両者とも働いていない |

問5 現在、同居のご家族をすべて選んで回答してください。(○はいくつでも)

1 配偶者（夫または妻）	6 祖父母（配偶者の祖父母を含む）
2 息子	7 子どもの配偶者
3 娘	8 兄弟姉妹（配偶者の兄弟姉妹を含む）
4 父、母（配偶者の父母を含む）	9 その他（ ）
5 孫	10 同居者はいない（ひとり暮らし等）

問6 あなたはお子さんがいますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

【問6で1と回答した方におたずねします。】

▶ 問6-1 別居のお子さんも含めてあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 乳児（1歳未満）	4 高校生・大学生（専門学校を含む）
2 幼児	5 学校を卒業した未婚の子ども
3 小学生・中学生	6 結婚した子ども

■男女の地位の平等感や性別による役割分担に関する考えについておたずねします。

問7 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっているとお考えですか。①～⑧のそれぞれについて回答してください。(○はそれぞれ1つ)

	男性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
記入例	1	2	③	4	5	6
① 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
② 職場で	1	2	3	4	5	6
③ 地域社会で	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の現場で	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体でみた場合	1	2	3	4	5	6

問8 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。
(○は1つ)

1 同感する	2 同感しない	3 わからない
--------	---------	---------

■家庭における男女共同参画についておたずねします。

【配偶者またはパートナーと同居している方におたずねします。】

問9 あなたの家庭では、次の①～⑫について、主に誰が担当していますか。(○はそれぞれ1つ)

	主夫が 担当して いる	分妻と 夫で同 じ程度 に担 当して いる	主妻が 担当して いる	主子ども 等が担 当して いる	その他 の家族 (親や 兄弟等) が担 当して いる	家族 以外 (民間 サー ビス 等)が 行っ てい る
記入例	1	②	3	4	5	
① 収入を得ること	1	2	3	4	5	
② 掃除	1	2	3	4	5	
③ 洗濯	1	2	3	4	5	
④ 食事のしたく	1	2	3	4	5	
⑤ 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	
⑥ ゴミ出し	1	2	3	4	5	
⑦ 日常の買い物	1	2	3	4	5	
⑧ 家計の管理	1	2	3	4	5	
⑨ 子育て	1	2	3	4	5	
⑩ 学校などの行事への参加	1	2	3	4	5	
⑪ 介護・看護	1	2	3	4	5	
⑫ 町内会など地域活動への参加	1	2	3	4	5	

【全員の方におたずねします。】

問10 あなたが家事・子育て・介護にかかる時間は、平均すると1日合計どのくらいですか。通常
の平日、休日、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言中について、それぞれ回答
してください。※5時間以上の場合は具体的な時間を記入してください。(○はそれぞれ1つ)

平日	休日	令和3年5・6月の 緊急事態宣言中(平日)
1 ほとんどしない	1 ほとんどしない	1 ほとんどしない
2 30分未満	2 30分未満	2 30分未満
3 30分～1時間未満	3 30分～1時間未満	3 30分～1時間未満
4 1時間～2時間未満	4 1時間～2時間未満	4 1時間～2時間未満
5 2時間～3時間未満	5 2時間～3時間未満	5 2時間～3時間未満
6 3時間～4時間未満	6 3時間～4時間未満	6 3時間～4時間未満
7 4時間～5時間未満	7 4時間～5時間未満	7 4時間～5時間未満
8 5時間以上(時間)	8 5時間以上(時間)	8 5時間以上(時間)

問11 今後、男女がともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(〇は3つまで)

- 1 男女の役割分担について社会通念・慣習・しきたりを改めること
- 2 仕事中心という社会全体の仕組みを改めること
- 3 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
- 4 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
- 5 夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと
- 6 家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること
- 7 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 8 男性の仕事中心の生き方・考え方を改めること
- 9 男性が家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと
- 10 夫が家事などをすることに妻が協力すること
- 11 妻が、夫に経済力や出世を求めないこと
- 12 女性が経済的に自立すること
- 13 その他 ()
- 14 わからない

■男女平等教育についておたずねします。

問12 男女平等を推進していくために、学校、特に小・中・高等学校等で行うとよいと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

- 1 男女平等に関する教職員研修を行う
- 2 校長や副校長、教頭に女性を増やしていく
- 3 学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする
- 4 生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する
- 5 男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する
- 6 健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める
- 7 出席簿、座席、ロッカーの順番など、男女を分ける習慣をなくす
- 8 保護者会などを通じ、男女平等教育への保護者の理解を深める
- 9 その他 ()
- 10 学校教育の中で行う必要はない
- 11 わからない

■ 様々な場での方針決定過程への男女の参画についておたずねします。

問13 あなたは、早島町の施策やまちづくりについて、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 十分反映されている | 3 あまり反映されていない |
| 2 ある程度反映されている | 4 ほとんど反映されていない |
| | 5 どちらともいえない |

【問13で3または4と回答した方におたずねします。】

問13-1 反映されていない理由は何だと思えますか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1 女性議員が少ない | 6 女性自身が消極的である |
| 2 行政機関の管理職に女性が少ない | 7 男性の意識、理解が足りない |
| 3 審議会や委員会に女性が少ない | 8 社会のしくみが女性に不利である |
| 4 自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない | 9 女性の能力に対する偏見がある |
| 5 女性自身の意欲や責任感が乏しい | 10 その他 () |

問14 あなたは、仮に次の役職への就任や公職への立候補を依頼されたらどうしますか。(○はそれぞれ1つ)

① 職場の管理職や役員	1 引き受ける	2 断る	3 わからない
② 自治会長、町内会長	1 引き受ける	2 断る	3 わからない
③ 町長・町議会の議員	1 引き受ける	2 断る	3 わからない

【問14で「2 断る」と回答した方におたずねします。】

問14-1 断る理由は何ですか。

<①職場の管理職や役員への就任を断る理由> (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 責任が重くなるから | 6 仕事と育児の両立が困難になるから |
| 2 業務量が増え長時間労働になるから | 7 仕事と介護の両立が困難になるから |
| 3 現在の業務内容で働き続けたいから | 8 周囲の目もあり、目立つのが嫌だから |
| 4 部下を管理・指導できる自信がないから | 9 その他 |
| 5 賃金は上がるが職責に見合った金額ではないから | () |

<②自治会長、町内会長への就任を断る理由> (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 仕事が忙しくて、地域活動の時間が取れないから | 6 責任を果たせるだけの自信がないから |
| 2 家事が忙しくて、地域活動の時間が取れないから | 7 なんとなく大変そうだから |
| 3 地域での人づきあいがわずらわしいから | 8 自分や家族の負担が増えるから |
| 4 育児や介護が忙しいから | 9 周囲の目もあり、目立つのが嫌だから |
| 5 責任ある役は引き受けたくないから | 10 慣習により、就任する人が決まっているから |
| | 11 報酬がない、または少ないから |
| | 12 その他 () |

<③町長や町議会の議員への立候補を断る理由> (〇はいくつでも)

1 仕事が忙しいから	7 なんとなく大変そうだから
2 家事が忙しいから	8 自分や家族の負担が増えるから
3 地域での人づきあいがわずらわしいから	9 周囲の目もあり、目立つのが嫌だから
4 育児や介護が忙しいから	10 報酬が少ないから
5 責任ある役は引き受けたくないから	11 その他
6 責任を果たせるだけの自信がないから	()

■職業生活についておたずねします。

問15 あなたは、育児休業制度、介護休業制度を利用したことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

<育児休業制度>

1 現在利用している	3 子どもはいる(いた)が、利用したことはない
2 利用したことがある	4 子どもはいない(いなかった)ため該当しない

<介護休業制度>

1 現在利用している	3 介護が必要な家族はいる(いた)が、利用したことはない
2 利用したことがある	4 介護が必要な家族はいない(いなかった)ため該当しない

問16 あなたは、仕事をやめたり、中断したり、あるいは転職したことがありますか。あるとすれば、その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない
2 結婚のため
3 出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため
4 親や病気の家族の介護・看病をするため
5 職場に育児・介護休業などの制度がないから
6 配偶者の転勤のため
7 家族の理解・協力が得られないから
8 長期間勤務しにくい職場の雰囲気のため
9 男女が対等に働ける職場でなかったから
10 ハラスメント(セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティハラスメントなど)があったから
11 よりよい条件の仕事があったから
12 その他()
13 特に理由はない

問17 あなたは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、就労の状況について次のようなことがありましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 退職した・事業を廃業した | 8 子どもの休校等により、仕事を休んだ |
| 2 仕事を休業した | 9 子どもの休校等により、自宅で勤務した |
| 3 勤務時間が減少した | 10 家族の介護のため、仕事を休んだ |
| 4 勤務時間が増加した | 11 家族の介護のため、自宅で勤務した |
| 5 収入が減少した | 12 その他 () |
| 6 収入が増加した | 13 特にない |
| 7 自宅勤務となった(自宅勤務の時間が増えた) | 14 働いていなかった |

問18 一般的に女性が職業をもつことについて、どのように思いますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 女性は職業をもたない方がよい |
| 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい |
| 3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい |
| 4 子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい |
| 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい |
| 6 その他 () |
| 7 わからない |

問19 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1 大変働きやすい状況にあると思う | 5 一概には言えない |
| 2 ある程度働きやすい状況にあると思う | 6 わからない |
| 3 あまり働きやすい状況にあるとは思わない | |
| 4 働きやすい状況にあるとは思わない | |

【問19で3または4と回答した方におたずねします。】

→ 問19-1 その理由は何ですか。(○は3つまで)

- | |
|---|
| 1 働く場が限られているから |
| 2 能力発揮の場が少ないから |
| 3 労働条件が整っていないから |
| 4 保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから |
| 5 介護施設が不足しているから |
| 6 家事・育児支援サービスが充実していないから |
| 7 昇進・給与等に男女の差別的扱いがあるから |
| 8 結婚・出産退職の慣行があるから |
| 9 ハラスメント(セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティハラスメントなど)があるから |
| 10 男は仕事、女は家庭という社会通念があるから |
| 11 家族の理解、協力が得にくいから |
| 12 その他 () |

■ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についておたずねします。

【問20・21は現在、仕事をしている方におたずねします。】

問20 日頃の生活における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・近所づきあい・スポーツ・趣味の活動・社会貢献活動など）」の優先度についておたずねします。

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、希望と現実・現状に最も近いものを回答してください。（○はそれぞれ1つ）

<希望>

- 1 「仕事」を優先
- 2 「家庭生活」を優先
- 3 「地域・個人の生活」を優先
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 8 わからない

<現実・現状>

- 1 「仕事」を優先
- 2 「家庭生活」を優先
- 3 「地域・個人の生活」を優先
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 8 わからない

問21 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれていると思いますか。（○は1つ）

- 1 とれていると思う
- 2 どちらかといえばとれていると思う
- 3 どちらかといえばとれていないと思う
- 4 とれていないと思う
- 5 わからない

問22 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 労働時間の短縮や休日の増加を促進する
- 2 保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する
- 3 育児や介護のための休暇制度を充実する
- 4 育児や介護休暇中の諸手当を充実する
- 5 結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する
- 6 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける
- 7 フレックスタイム制、短時間勤務制などを導入する
- 8 在宅勤務制度を導入する
- 9 管理職の意識改革
- 10 同居の家族や近くに住む親族が協力する
- 11 地域住民同士で関わり合い（助け合い・見守り等）を強めていく
- 12 その他（)
- 13 わからない

■地域での男女共同参画の推進についておたずねします。

問23 過去5年間で参加した地域活動にはどのようなものがありますか。（〇はいくつでも）

- 1 趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動
- 2 育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育てや教育に関する活動
- 3 町内会、自治会、婦人会などの行事や活動
- 4 地域の防災・防犯・交通安全に関する活動
- 5 健康教室、食生活改善など健康推進に関する活動
- 6 高齢者・障害者支援など社会福祉に関する活動
- 7 自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動
- 8 身近にいる外国人たちとの交流や国際理解活動
- 9 その他（)
- 10 どれにも参加しなかった

【問23で10と回答した方におたずねします。】

→問23-1 どれにも参加しなかったのはなぜですか。（〇は2つまで）

- 1 家事や子育てが忙しいから
- 2 介護の必要な高齢者や病人等がいるから
- 3 仕事が忙しいから
- 4 活動に経費がかかるから
- 5 家族から理解が得られないから
- 6 自分にあった適当な活動がないから
- 7 どのように参加するかわからないから
- 8 参加することに意義を感じないから
- 9 人間関係がわずらわしいから
- 10 その他（)

問24 あなたは、性別の違いに気を配った防災・災害対応のためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 消防団や自主防災組織への女性の参画を促進する
- 2 平常時から性別に配慮した防災訓練を行う
- 3 災害時に対応できるよう、平常時から自治会や町内会の役員への女性の参画を促進する
- 4 災害発生直後から、市町村等の女性職員が現場で対応する
- 5 避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする
- 6 更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う
- 7 避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を、性別で固定せずに分担する
- 8 防災や復興の政策・方針を決める過程に女性が参画する
- 9 その他 ()
- 10 特にない
- 11 わからない

■男女間の暴力についておたずねします。

問25 あなたは現在、配偶者・パートナーや恋人がいますか、または過去にいましたか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 いる (いた) | 2 いない (いなかった) |
|-----------|---------------|

【問25で1と回答した方におたずねします。】

問26 あなたはこれまでに次の①～⑤のような行為を受けたことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

	まったく ない	1、 2度あ った	何 度も あつ た
記入例	1	②	3
① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体的暴力を受けた	1	2	3
② 人格を否定するような暴言、脅迫やおどし、何を言っても無視するなど精神的暴力を受けた	1	2	3
③ 友人や家族に会わせない、外出させない、電話・電子メール等をチェックするなどの社会的暴力を受けた	1	2	3
④ 生活費を渡さない、借金を強いる、収入を取り上げる、外で働くことを妨げるなどの経済的暴力を受けた	1	2	3
⑤ 見たくないのにアダルトビデオ等を見せられたり、嫌がっているのに性的行為を強要したり、避妊に協力しないなど性的暴力を受けた	1	2	3

【問26でいずれかの暴力を受けた経験が「2. 1、2度あった」「3. 何度もあった」と回答した方におたずねします。】

問27 あなたは、これまでに配偶者・パートナーや恋人から受けた暴力について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

- 1 誰(どこ)にも相談しなかった
- 2 家族・親せきに相談した
- 3 友人・知人に相談した
- 4 学校に相談した
- 5 警察に連絡・相談した
- 6 裁判所に相談した
- 7 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
- 8 女性相談所、女性(婦人)相談員に相談した
- 9 岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター)に相談した
- 10 市町村の女性のための総合的な施設(男女共同参画推進センターなど)に相談した
- 11 市役所・町村役場に相談した
- 12 その他の公共機関に相談した
- 13 弁護士に相談した
- 14 医師・カウンセラーに相談した
- 15 民間の相談機関(民間シェルターなど)に相談した
- 16 その他()

【問27で1と回答した方におたずねします。】

問27-1 誰(どこ)にも相談しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 誰(どこ)に相談してよいかわからなかった
- 2 相談しても無駄だと思った
- 3 恥ずかしくて(世間体が悪くて)相談できなかった
- 4 他人を巻き込みたくなかった
- 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをと思った
- 6 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った
- 7 そのことについて思い出したくなかった
- 8 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりと思った
- 9 誰にも言わないよう、相手に脅された
- 10 自分にも悪いところがあると思った
- 11 相手の行為は自分に対する愛情表現だと思った
- 12 相談するほどのことではないと思った
- 13 その他()

問28 あなたは、配偶者・パートナーや恋人からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問29 配偶者・パートナーや恋人から暴力の被害を受けた人が、暴力についての相談をしやすくするためには、どんな相談体制が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 メールによる相談ができる | 9 多言語での相談ができる |
| 2 LINEなどのSNSによる相談ができる | 10 相談窓口や利用できる支援についてもっとPRする |
| 3 電話による相談ができる | 11 弁護士など、法的知識のある相談員がいる |
| 4 通話料が無料 | 12 臨床心理士、公認心理士など、心理専門職の相談員がいる |
| 5 24時間相談ができる | 13 その他 () |
| 6 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる | 14 特にない |
| 7 同性の相談員がいる | 15 わからない |
| 8 匿名で相談ができる | |

問30 男女間の暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 幼い時から男女が平等であることの教育をしっかり行う |
| 2 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う |
| 3 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う |
| 4 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う |
| 5 職場で、暴力を防止するための研修会などを行う |
| 6 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う |
| 7 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす |
| 8 被害者を保護する体制を整備する |
| 9 被害者が自立して生活できるよう支援する |
| 10 被害を受けて悩んでいる人へ相談窓口や解決方法等の情報を提供する |
| 11 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う |
| 12 地域住民同士で関わり合い(見守りなど)を強めていく |
| 13 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う |
| 14 加害者への罰則を強化する |
| 15 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、インターネットなど)を取り締まる |
| 16 その他 () |
| 17 特に対策の必要はない |
| 18 わからない |

■女性の健康についておたずねします。

問31 生涯にわたる健康の維持増進は、女性にとっても男性にとっても、充実した生活を営む上で重要な課題です。とりわけ女性は妊娠や出産のための仕組みが備わっており、男性とは異なる身体上の特徴がありますが、生涯を通じた健康を支援するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 妊娠・出産に関する情報提供の充実
- 2 思春期、妊娠・出産期、更年期、老年期に合わせた健康づくり支援の充実
- 3 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の充実
- 4 働く女性の母性保護のための企業への啓発
- 5 健康診断など、健康づくりに関する情報提供の充実
- 6 心身にわたるさまざまな悩みに対する相談体制の整備
- 7 その他 ()
- 8 特にない

■性の多様性についておたずねします。

問32 あなたは、性的マイノリティ*¹ (LGBT*²等)という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 言葉と意味の両方を知っている
- 2 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない
- 3 知らない(聞いたこともない)

*1 性的マイノリティとは、同性が好きの人や、自分の性に違和感を覚える人、または性同一性障害などの人々のこと。

*2 LGBTとは、L(レズビアン:女性同性愛者)、G(ゲイ:男性同性愛者)、B(バイセクシュアル:両性愛者)、T(トランスジェンダー:体の性と性自認が一致しない人)の頭文字を並べた言葉で、性的マイノリティを表す言葉の一つ。

問33 あなたは、身近な人(家族、友人など)から性的マイノリティ(LGBT等)と打ち明けられた場合、これまでと変わりなく接することができますか。(〇は1つ)

- 1 できる
- 2 できない
- 3 わからない

問34 あなたは、性的マイノリティ(LGBT等)の人にとって、現在の社会は暮らしやすい社会になっていると思いますか。(〇は1つ)

- 1 暮らしやすいと思う
- 2 やや暮らしやすいと思う
- 3 あまり暮らしやすいとは思わない
- 4 暮らしやすいとは思わない
- 5 わからない

問35 性的マイノリティ（LGBT等）の人への偏見や差別をなくし、性的マイノリティの人が暮らしやすい社会をつくるためにはどのような取組が必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 いじめや差別を禁止する法律の整備や制度の見直し
- 2 パートナーシップ宣誓制度*3を導入する
- 3 専門相談窓口の充実
- 4 啓発や広報活動の推進
- 5 児童・生徒などへの学校における教育の充実
- 6 行政職員や教職員に対する研修の実施
- 7 職場における理解の促進
- 8 当事者同士が集まる居場所の創設
- 9 トイレや更衣室などの環境の整備
- 10 その他（)
- 11 わからない
- 12 必要だと思わない

*3 パートナーシップ宣誓制度は、性的マイノリティの人や事実婚カップルの人などに対して一定の要件の下で、地方自治体が結婚に相当する関係と認める制度であり、法律上の効果が生じるものではない。

■情報提供についておたずねします。

問36 あなたは、行政や男女共同参画等に関する情報を探すとき、どのような方法で入手しますか。（○はいくつでも）

- 1 町のホームページ
- 2 町の刊行物（広報紙、パンフレット等）
- 3 町の窓口（町役場等）
- 4 岡山県や国のホームページ
- 5 岡山県男女共同参画推進センター（ウィズセンター）
- 6 テレビやラジオ
- 7 SNS（ツイッター、フェイスブック等）
- 8 図書館や書店の書籍
- 9 その他（)
- 10 入手することはない

